

岡山市における 用水路転落事故の課題と実態

ノートルダム清心女子大学地理学教室(森ゼミ)



2024年2月17日

活動背景

岡山平野南部には広大な干拓地が多く、**用水路**が多い
→特に用水路転落は高齢者が多く、転落して死亡する事故もある

2016年6月29日(朝日新聞) 2015年に自転車やオートバイを運転中の転落死亡者数は**全国ワースト1位**
→自治体ごとに対策をしているものの、範囲が広くすべての地区まで対応しきれていない



活動内容は…

岡山市消防局の方に頂いた、2017年から2021年の約600件の用水路転落事故のデータをもとに、フィールドワークを実施、その後データ分析し傾向をつかみ、**事故発生防止のリーフレットを作成**

活動内容 ～データ分析の視点から～

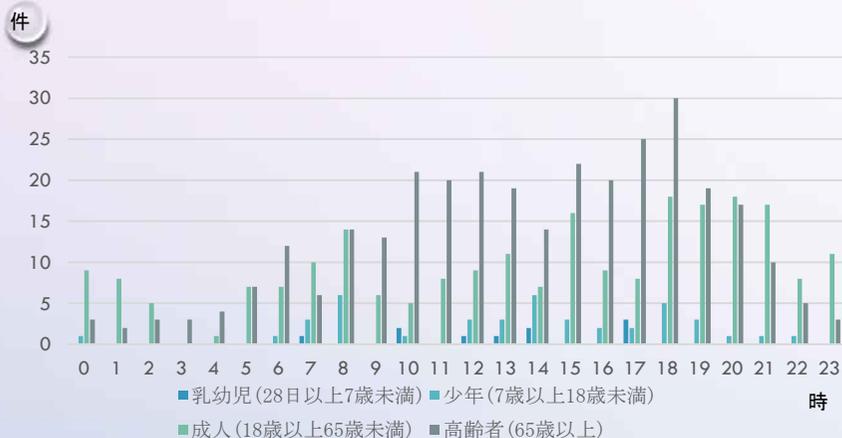


図1 用水路転落事故の年齢別1時間ごとの発生状況

年齢別転落が多発している時間は、
 成人→6時から8時、18時から20時《出退勤時刻》
 高齢者→10時から18時《決まった時刻がない》
 成人、高齢者最も多い転落時間は、18時台

乳幼児は10件、少年は35件、
 成人は192件、高齢者 273件発生
 用水路転落死亡率は年齢別全体の約85%
 が高齢者
 高齢者の死亡率は成人の約4倍

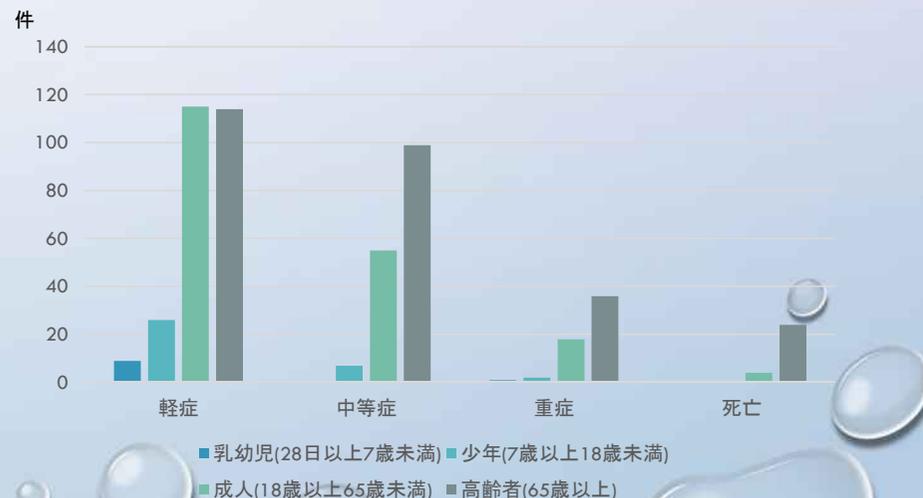


図2 用水路転落年齢別による傷病程度

～現地調査の視点から～

①



②

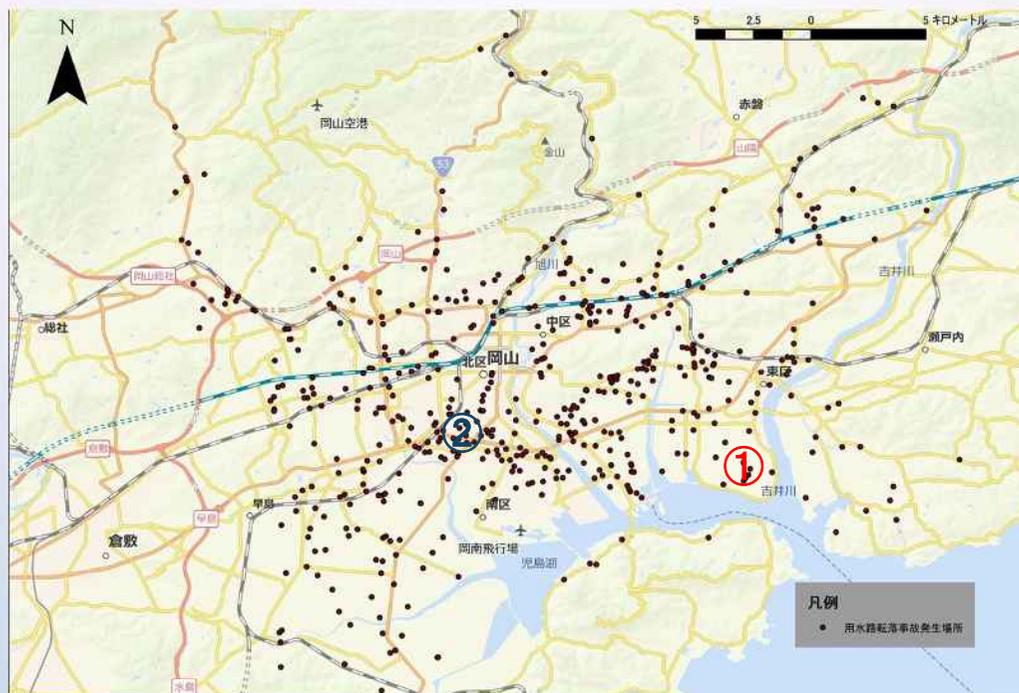


図3 岡山市用水路転落事故発生場所
(2017年から2021年約500件)



用水路転落事故の実態は、、、



データ分析からは、、、

用水路転落事故は全体の半数が高齢者

高齢者は死亡リスクが高く、18時台の転落が最も多い

歩行中の転落事故が多く、用水路周辺住民は特に注意

現地調査からは、、、

道路の形状が曲がり角、カーブ、傾斜など

道幅の狭い道路

交通量の多いケース



